令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画(PLAN)

事務事業名	清掃総務一般事務	会計名称				_	一般会計		担当課	課			
争伤争未有	有价格的一双争约	予算科目	4	款 2	項 1	目	事業番号	2290	所属長名		安田敦		
事業評価の有無	□ 評価対象事業 ■	評価対象外事業	(事業の	概要・絹	結果のみ)			担当責任者名		高橋雄二	-	
法令根拠等								0		【開始】	令和/平成 17	7 年度	
総合計画での	快適空間都市の創造								実 施 期 間	[40 7]	令和	年度(予定)	
位置付け	循環型社会構築に向けた環境づくり	景型社会構築に向けた環境づくり							【終了】				
総合計画における 本事業の役割	公衆衛生上の観点から快適環境を維持するために必要な	事業											
事業の対象	市民			ą	事業の目	的	清掃関連事業に係	《る個別事》	务事業以外の業務 <i>の</i>	執行			
事業の内容 (整備内容)	資源ごみ持ち去り防止パトロール、監視カメラの維持管 クル	·理、不法投棄家管	電のリサ		i事業とし ととした			て主要な反	 戈果が見込めないた	上め、評価	近対象外事業 と	こすべきと判	

事業活動の内容・成果 (DO)

			事	業	1	貴 及	U	財	源	内	訳	(∓ F	円))			事	業	活	動	の	実 績	(活 動	指	標)	
	J	項			=	前年度》	夬算	当初予算额	預 :	補正予算額	継続	費その他	翌年度	繰越	決算額	Į		項	目		単	位 前	f 年度実	績 1	年度予定	9月末	の実績	1	年度実績
	直	接	事	業	費	145	, 763	4, 2	83	2	8	0		0	3,	798	Yes had with	7 det de -	+ 10 17+ 1										
	財原生		支 出	金		0		0		0	0		0			資源ご	外持 り:	去り防」	止ハト	`	日	1	12	116		58		116	
			県 支 出 金			0) (0		0		0	0										ĺ					
	内	地		方	債		0		0		0	0		0		0)												
		そ		の	他		0		0		0	0		0		0	監視力	監視カメラ設置数		数		台	11	11	11	11	11	1	11
		_	般	財	源	145	, 763	4, 2	83	2	8	0		0	3,	798									<u> </u>				
	職員	の人	エ(にんく	() 数		0.20	0.	20						(). 20													
	人工	当た	<u>-</u> りの	人件	費単価	7	, 982	7, 9	92						7,	992	不法投	棄家電!	リサイ:	クル数	τ -	台		1	11		1		11
	Ж	直接	事業	費+ノ	人件費	147	, 359	5, 8	81						5,	396													
		主な	ま実施	拖主体		直接実施	Ī			ミ施形態(神 を記れる と と と で と で と で よい で よい で よい で よい で よい で	補助金 料等の記	• 指定管 記載欄)																	
	+->-kmo+++++								2	年度		3 :	年度	, and the second	4 :	年度		5 年度		6 年	度	5年	間の台	合計					
	向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)									4, 280			4, 280			4, 280		4, 2	80	4	, 280			21, 400					

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任 者)	事業の成果	資源ごみ持ち去りパトロールを紙類の収集日を重点的に実施。併せて、不法投棄多発場所の巡回や悪質野焼きの指導を行うことができた。									
	- 次判定 事業の 方向性	■ 事業継続と判断する。									
一次判定		□ 事業縮小と判断する		主に不法投棄対策としての事業であり、公衆衛生上、快適な空間環境の維持のためには必要なもので あるため、事業継続と判断する。							
		□ 事業廃止と判断する									

	■ 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進
		に努め、今年度の事務事業評価シートに 反映させること。
- vt and t	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
二次判定		
	□ 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
	□ 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
	□ 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	
	答申の内容	
行政評価委員会の答申 外 部 評 価		
77 87 87 16		
今後の方向性 (ACTION)		
/ DOSYSTATE (NETTON)	事業の方向性コメント欄	
	□ さらに重点化する。	
∅⇔≠△;≠	見状のまま継続する。	
経営者会議 の最終判断	見直しの上、継続する。	
	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	